

令和元年12月11日開催「地域と語る会」 意見交換内容

No	会場	種別	意見・要望・質問等	町の回答
1	上条保育園	病後児保育	病後児保育は3歳からとなっているが、それ以前の子どもにも対応してほしい。	3歳を目安に対応していますが、事前に相談いただければそれ以下の年齢でも対応いたします。
2	上条保育園	病後児保育	病後児保育の場所が三川というのは利用しづらい。真ん中の津川で実施してほしい。	三川で実施している理由は、「町外に仕事へ行く方」や「町外の医者へ通う方」の通り道であることやインターが近いという立地の面によるものです。
3	上条保育園 わかば保育園	病児保育	病後ではなく病中に預かってもらいたい。子どもが病気になった場合は仕事を休まなければならない。	小児科医の確保が難しく、現状大きな課題となっています。
4	わかば保育園	学童保育	児童全員で行動するので、遊ぶときは全員で外へでている。喘息(花粉アレルギー)の子供は外へでることが難しいため春先は学童を控えている。 先生の数も限られているため、難しいかもしれないが、個別に屋内対応もしてくれると助かる。	児童クラブ入会申込書の記入内容、または、保護者からの相談により児童クラブでアレルギー等の健康状態を把握している児童については、個別の対応をしています。 支援員の人数の問題もありますが、今後もよりきめ細かい対応ができるよう努めてまいります。
5	わかば保育園	保育時間	もう少し早い時間から預けられないか。核家族だと早出や休日出勤に対応できない。	今後拡大ができるように検討しています。
6	上条保育園 わかば保育園	休日保育	土曜日を一日保育にしてもらえないか。	今後拡大ができるように検討しています。
7	上条保育園	医療	小児科で利用できる病院が町内にない。 緊急時に利用できる病院がないため、新潟方面へ車を出さなければならない。	小児科医の確保が難しく、現状大きな課題となっています。
8	わかば保育園	医療	インフルエンザの集団予防接種を学校・保育園で行ってほしい。現在希望者が受けるので、仕事を2日休んで連れ行かなければならない。	厚生労働省の予防接種の要領より、アレルギーによるショック症状やその他の事故に対応するために医療機関で保護者の責任のもと個別接種することとなっているため、学校・保育園では行わない方針です。
9	上条保育園	バス	保育所の送迎バスは、時間帯が合えば利用したいが時間が合わない。 高齢者の運転手が多いようで心配もあるがなくなるのは困る。	バス会社に委託しており、健康管理・安全運転講習等指導しています。
10	ひまわり保育園	公園	阿賀の里に子供が遊べる空間がほしい。	阿賀の里につきましては、来年度から施設の全体的な活用方法の見直しを行う予定となっておりますので、今回いただいたご意見を踏まえて見直しを図ります。

令和元年12月11日開催「地域と語る会」 意見交換内容

No	会場	種別	意見・要望・質問等	町の回答
11	ひまわり保育園	公園	自然環境が水辺、小川などのある自然を丸ごと体験できる場を多くしてほしい。(青少年旅行村やハーバルパーク、向ノ島公園等の整備)	青少年旅行村やハーバルパーク、向ノ島公園等既存の公園については、施設の利用者が安全に遊ぶことができるよう、適切な管理に努めてまいります。 また、来年度に阿賀野川河川公園が完成する予定です。全面に芝が張られており、多目的な用途で利用することができます。ぜひ多くの方に利用していただきたいと思います。
12	上条保育園	公園	子供たちが自由に遊べる場所がない。鳥獣の被害が怖いので屋外では遊ばないし自転車でも出かけられない。室内でもよいので広い場所を開放してほしい。	屋内で子供たちが遊べる場所は、B&G海洋センターをはじめとする社会体育施設等となっており、定期利用団体が利用している場合は利用できないなど、限定されているのが現状です。町では遊休施設の利活用について進めており、地元の意向を最優先とすることから、現在意向調査を進めておりますが、その中で子供が遊べる屋内施設についても検討をしているところです。
13	上条保育園	学校	小中高と連動した部活をしても良いのでは。例えばサッカーは小学校でやっても中学・高校でなければ、外のクラブに行かなければならない。	部活動は学校の課外活動として行われており種目についても学校長が決めることになっていますが、こうしたご意見がありましたことを学校長に伝えます。
14	上条保育園	学校	中学校の合併は、子どもたちのために今後は必要なのではないかと。	この件に関しましては、両校保護者が将来的な町の学校の在り方について、共通認識が図られるよう、情報提供に努めて参ります。
15	上条保育園	出産祝い金	現状の出産祝い金(第1子・第2子は5万円、3子以降10万円)では、もう一人産もうという気持ちにはなれない。	子育て支援の一つとして祝い金と一体に生活に密着した制度になるよう検討していきます。
16	ひまわり保育園	情報発信	町から子育てについて本当によくしてもらっていると思う。他市町村への発信が少ないのでは。	各課と協力して情報発信を行ってまいります。